

2016年10月15日発行

K



神奈川県理学療法士会
(公社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

10 2016
October
No.269

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 渡邊 観世子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[28.9.1現在]

4,929名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶会長挨拶 P3▶新人教育プログラム P6▶活動報告
P7▶会員ライフサポート部活動報告57報 P9▶学会情報 P10▶研修会・講習会 P11▶会長行動報告
P12▶理事会報告 P15▶information P16▶編集後記／原稿送付先

巻頭言



EBPT (Evidence-based Physical Therapy) への誘い

湘南藤沢徳洲会病院 リハビリテーション科 理学療法士
伊藤 亮介

EBPTとは、「臨床場面において個々の患者様に関する問題点・疑問点を研究報告による科学的根拠や患者様の意向・価値観などを統合しながら最適な臨床判断を行うこと」すなわち、個々の患者様により良い理学療法を提供するための判断基準を示した実践的な方法ということになります。

私は、今年の夏に認定理学療法士のための必須研修会である協会指定研修に参加しました。1日の講義の中で、日本理学療法士協会が目指す認定理学療法士の役割ということでEBPTやガイドラインなど「理学療法の標準化」に関するお話をたくさん聞くことができました。その中で、私にとって衝撃的なスライド資料が一つありました。それは「新人から熟練理学療法士への成長イメージ=バランスよく成長する」というもので、評価・技術・知識・マネジメント能力の4項目に関して、日本の理学療法は技術に大きな比重を置いて今まで発展してきたことに対し、問題提起をしているといった内容でした。

今から約15年前に私が1年目の理学療法士として勤め始めた頃は、「特殊テクニックができなきゃPTじゃない」と日々感じるような時代でした。私の病院はグループ内で研修制度があり、離島に勤務するセラピストがグループ内の基幹病院に短期間研修に来るといったものがあります。その時の一つの思い出にこんなことがありました。私が認知症の患者様の足関節のROMexを実施していた時に、離島から研修に来ていたOT (PTではなく) に「今しているのはAKA (博田法) ですか?」と質問されたことです。私は当たり前ですが、ただのROMex.ですと答えたところ、その彼が「なーんだ」という顔をしていたことをよく覚えています。その当時は、週末に先輩方が技術研修に積極的に参加されており、そんな先輩の腰痛患者様の申し送りには「AKAお願いします」しか書いていなかったりして、物事をあまり深く考えない私は、「患者様を良くするために、何か技術を身に着けなければ」とすぐに考えたものでした。今までBobath

Concept、PNF、Nordic System、筋膜リリース、MSI、Jandaアプローチ、体表解剖研究会など色々な現職者講習会に参加しました。その甲斐もあって、毎日の臨床で当たり前のように行う触診や動作分析といった「匠の技」に磨きをかけることができました。しかし、自分の行っている評価・治療内容に関するEvidenceに注意をあまり向けることのなかった私にとって、そのスライドの内容は心に響くものがありました。それと同時に、今までの技術研修で培ったものはEBPTにとって無益になってしまうのかという心配も心に浮かびました。

それからいくつか調べてみると、EBPTの実践手順の4番目のステップに、「情報の患者様への適応」というものがあります。そのステップの重要な点として、論文の結果だけがよりどころではなくPTの経験・技術や施設の設備環境などと摺り合わせをしながら、介入方針を決定していくことが挙げられています。すなわち、仮にEvidence levelの高い情報が得られたとしても、自分の臨床能力として実施できないものであれば、意味を成さない情報ということになります。裏を返せば、臨床能力が高ければ高いほどより多くの情報を患者様の評価・治療に還元できると言えます。このことを知り、自分の培ってきたことが無駄ではなかったと安心することができました。

EBPTの実践・理学療法の標準化を目標とすると、パターン・リーズニング (経験に基づいた直観的思考) や試験治療に頼りすぎず、時間の許す時は治療開始閾値まで検査をしつかり積み上げていき病態診断を確定すること。治療内容に関しても経験年数は関係なく、なおかつEvidence levelの高い治療内容を行うようにすることを意識していきたいと思いました。

徳洲会に戻り3年半が経ち、職場の仲間たちの影響もありPTとして新しい課題が見つかることができた自分は「ラッキー」としみじみ思います。

会長挨拶



新時代に向けて

(公社) 神奈川県理学療法士会 会長 林 克郎

今、理学療法士の周りには3つの大きな変革のうねりが押し寄せています。

1つ目のうねりは、高齢者の増加と医療技術の進歩などによる社会保障費の爆発的な伸びが避けられないことから、これらに対応するため医療、介護、福祉に携わる我々の業務への変革です。今後、様々な制度の見直しが進んでいくものと思われませんが、これらは理学療法士一人ひとりの生活にも直結してくる重大な関心事であり、ステークホルダーとして積極的に関わっていかなければ、気付いた時には夢も希望も絶たれることが危惧されます。

次に巷では、産業革命4.0(第4次産業革命)が話題になっています。AIやロボット、IoTなどが話題の中心です。センシング技術などの進歩により様々なデータが活用され、感覚的に判断していた事象がより客観的となり、それらを活用したロボットが我々の業務に欠かせないアイテムの一つとなる時代が来るでしょう。これが2つ目のうねりです。

そして3つ目のうねりは、理学療法士の質に関する変革になります。卒前教育の場である養成校のカリキュラムを定めている指定規則の見直しや、理学療法士の需要と供給に関する検討が厚生労働省で始まっています。さらに卒後教育では、(公社)日本理学療法士協会による質向上のための管理者養成プログラムが始まり、(公社)神奈川県理学療法士会ではキャリアパスを意識した研修体系の検討に着手しています。卒前から卒後にわたる連続的な人材育成改革の息吹を感じます。

以上のようにこうした時代の大きな転換期にあたり理

学療法士の代表として、リハビリテーション専門職の代表として、山口(公社)日本理学療法士協会理事に加え、同協会小川かつみ副会長が参議院議員として国政の場で活動されることになりました。会員の皆さんをはじめ、会員のご家族、関係者の皆さんの応援により、神奈川県では会員数には若干欠けるもののほぼ同数の方々に支えていただきました。新しい時代の到来に向けて、我々の夢や希望を国政の場に伝え、政策決定に反映していくための非常に強力な手段を2つ手にすることが出来ました。組織代表として小川副会長と山口理事を自らの汗で送り出した今、新しい我々の時代を自らの手で切り開くために、我々理学療法士の気持ちと切実な叫びを自分の胸の中だけに留めず、両議員に伝え、政策実現のためにその活動を支えていくことがこれからの我々の役割になります。観客席でただ座って観ていても都合良く世の中は変わっていきません。臨床活動に専念できるのも、学術活動に心を躍らせることができるのも、教育活動に集中できるのも、制度として社会から理学療法士が適切に評価され、身分と生活が保障されてこそ可能となります。

本会は全国と同様、平均年齢30歳余りの若い職業人の集まりです。約80%の理学療法士が20代30代です。ほとんどの会員にこれから20年以上の長い道のりが待っています。我々一人ひとりがプロとして、その知識と技術とを如何なく十分に発揮でき、充実した未来を築いて行くためには、理学療法士一人ひとりの自分の将来のこととして共に考え共に行動することが必要です。更なるご支援とご協力をお願いします。

がんの治療に幅広く対応した、アフラックのがん保険。

生きるためのがん保険 Days

NEW! がんを診断された方へ

生きるためのがん保険 寄りそうDays

はじめてダック

お問合せ先

募集代理店

国際保険株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社

Aflac

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7
新宿ファーストウエスト17F
Tel.03-3344-1580

重大疾病[※]にも強くなった。

※「がん・脳卒中・急性心筋梗塞」(三大疾病)のことを指します。

NEW

ちゃんと応える医療保険 EVER

ちゃんと応える医療保険 やさしいEVER

〈特約を付加した場合〉

新人教育プログラム



平成28年度 第3回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、平成28年度 第3回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日：**平成28年12月4日（日）
受付開始時間 9:30～（予定）
- 開催地：**神奈川県立保健福祉大学 講堂
- 交通：**京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分
(案内図参照)。
- 受講費：**本会会員1,000円
(受講単位数に関わらず一律1,000円)
他士会会員 4,000円
(受講単位数に関わらず一律4,000円)
- 内容：**新人教育プログラム研修会
今回の研修会では、「新人症例報告会」として発表者にC-6・C-7を合算した4単位、聴講のみの方にはC-7の1単位を付与いたします。
詳細は県士会ニュース、HPでご確認ください。

予定時間	研修会テーマ	取得単位
10:00-11:00	B-4 症例報告・発表の仕方 (高度専門士免除)	1
11:05-12:05	C-6・C-7 症例発表 士会活動 (聴講者はC-7:1単位のみ付与)	4(1)
12:10-13:10	C-6・C-7 症例発表 士会活動 (聴講者はC-7:1単位のみ付与)	4(1)

- 申込方法：**事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。
登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。**個々のテーマは独立した研修会です**ので各々の登録が必要になります。

また、高度専門士取得の確認については個々の出身校にお問い合わせください。
症例報告会発表希望者は「C-6」と「C-7」の受講登録と別途、新人症例報告会へのエントリーが必要です。別項または県士会HPの案内に沿って申込みください。
聴講のみの希望者は「C-7」の受講登録が必要です。
受講登録が済みますと自動返信メールがお手元に届きますので返信内容をお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。
自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださりますようお願いいたします。
新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

- 申請テーマのキャンセル：**
事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。
やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、研修日以前は本会事務局 (office@ptkanagawa.or.jp) へ、研修会当日は専用PHS: #070-5020-9036まで必ずご連絡ください。
- 講義資料：**日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードしご持参下さい。会場での用意はございません。
- 定員：**400名 (先着順)
- 申し込み期間：**
申込開始日：平成28年10月24日（月）
申込終了日：平成28年11月28日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願い

新人教育プログラム

いたします。

※新人症例報告会発表者エントリーの申込みの期限は11月7日までとなっております。上記と異なりますのでご注意ください。

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参ください。

注) 研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。

注) 昼食休憩はありません。(ホール内での飲食は厳禁となっております)

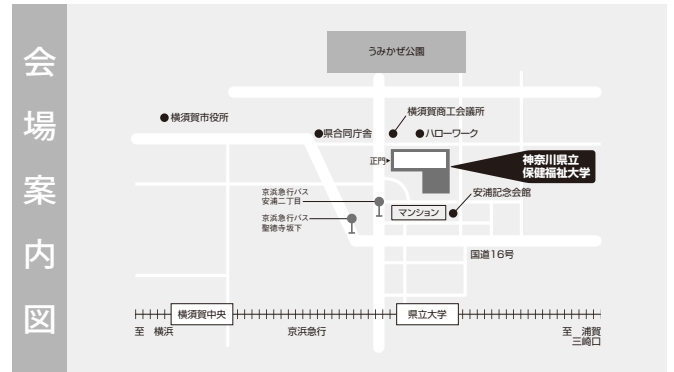
問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail : reha-ykh@ykh.gr.jp

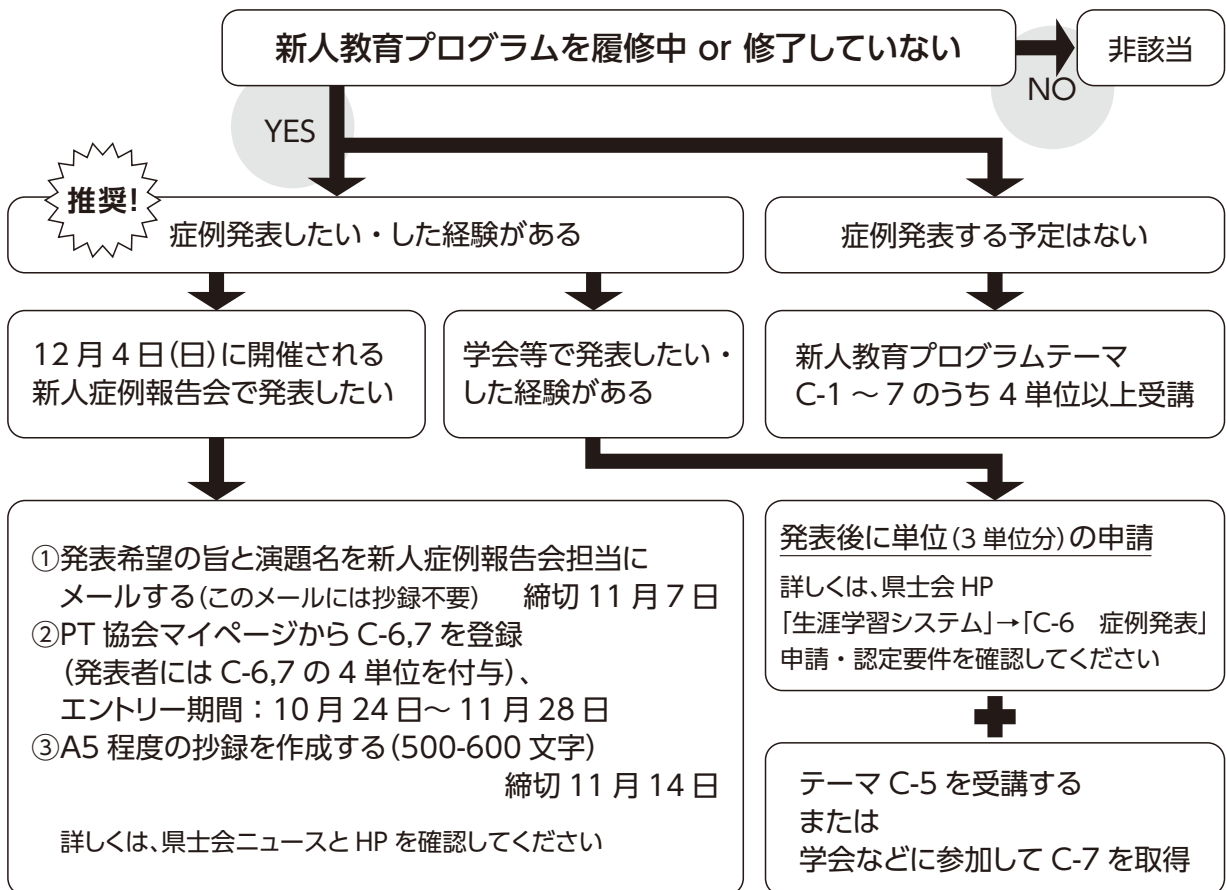
新人教育部 部長：木村 充広

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局

E-Mail : office@pt-kanagawa.or.jp



新人教育プログラム「理学療法の臨床」テーマCの単位(4単位)取得の流れ





新人教育部主催「新人症例報告会」のご案内（最終案内!）

1. 日時：平成28年12月4日（日）11：05～
第3回新人教育プログラム研修会内で開催
エントリー期間：平成28年7月10日～平成28年11月7日
発表者募集定員：若干名（残りわずか！定員になり次第締め切りです）
2. 発表者資格
 - 1) 本会の会員であり経験年数1～3年目までの者。
 - 2) 新人教育プログラム「C：理学療法の臨床」の選択必修4単位の取得を希望する者。
(発表者にはC-6、C-7を合算し4単位を付与)
3. 当日の発表形式
 - 1) 発表形式は口述とし、パワーポイントを使用します。用意しているPCのOSはWindows 7、アプリケーションソフトはPowerPoint 2010です。発表者一人の持ち時間は、発表10分、質疑応答10分を予定しています。
4. 発表希望者申し込み方法
 - 1) 下記のメールアドレスに①氏名、②所属、③経験年数、④連絡先（e-mailアドレス）、⑤演題名を明記しエントリーを行う。エントリー終了後、担当者より詳細について案内メールがあります。
e-mail: syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp
新人症例報告会担当
新人教育部：藤尾 綾美 三縄 智栄
 - 2) 協会マイページより第3回新人教育プログラム研修会のweb受付期間内（10月24日～11月28日）に受講テーマの申し込みを行う（C-6およびC-7）
5. 抄録作成のお願い
エントリー終了後、当日配布する500-600文字程度（A5程度）の簡単な抄録の作成をお願いします。詳細については担当者からのメールによる案内に従い記載してください。
締め切りは11月14日とさせていただきます。
6. 聴講者
 - 1) 聴講後、新人教育プログラム未修了者には「C：理学療法の臨床」からC-7：「土会活動・社会貢献」の一単位が付与されます。これには前述した4-2)と同様の手続きでC-7への事前登録が必要です。積極的な参加をお待ちしています。
 - 2) すでに修了されている方の聴講も可能ですが、修了者であることを受付にてお申し出ください。
7. その他
 - 1) 当日はB-4：症例報告・発表の仕方（高度専門士免除）が開講されます。受講希望者は上記のテーマとは別に前述した4-2)と同様の手続きでB-4への事前登録が必要です。
 - 2) 当日は発表のみ、または聴講のみであっても新人教育プログラム参加費1000円/日を徴収いたします。
 - 3) テーマC-6「症例発表」の単位取得につきましては、従来通り他学会等での発表認定（3単位）を引き続き行っております。詳細は県士会ニュース、HPでご確認ください。

以上
学術局 新人教育部



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>

活動報告

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業報告

桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科災害対策研修会
講師担当 (公社) 神奈川県理学療法士会災害対策委員会 西澤茂子

講師派遣事業として平成28年7月14日(木)大和市の医療法人社団哺育会桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科主催の「災害対策」をテーマにした研修会に参加しました。

病院全体の取り組みだけではなく、今年度からリハビリテーション科としても災害対策に取り組まれるとの事で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士合わせて52名と多くの方にご参加頂いたことから皆様の関心の高さがうかがえました。内容は1. 災害概論 2. 災害支援～セラピストの役割～ 3. 神奈川県理学療法士会災害対策委員会の活動について講義を行いました。

災害リハビリテーション及び災害時におけるセラピストの役割については、セラピストの中でもまだまだ知られていないところが多いと思います。実際に災害現場での支援を経験した方となるとさらに限られた人数となり、災害時

のセラピストの役割のイメージは付き難い現状があると思います。今回の参加者の中にも災害現場での支援活動経験のある方はいらっしゃいませんでした。講義では災害リハビリテーションの目的、支援活動でのセラピストの役割、災害フェーズ各期におけるセラピストの活動について熊本地震での委員2名の支援活動の様子も交えながらお話をしました。

また、発災時の災害リハビリテーションだけではなく平時から行える活動として防災・減災の為の地域作り＝顔の見える関係性の構築についてお話をしました。

桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科でも大和市内の関連職種とのネットワーク作り活動を行っているとお話もあり、その中でもまた災害対策の研修を開催したいとの意欲的な言葉も聞かれました。

委員会の活動紹介の中でも地域防災をキーワードに県内における災害支援ネットワークの構築を目指した各種研修会の開催や、災害対策キャラバンを行っていること事も伝え、9月11日開催予定の第5回災害対策研修会や県央ブロックキャラバン(秋開催予定)への参加を呼びかけました。質疑ではロジスティクス要員でなければ支援ができないのか? 県士会独自の支援はできないのか? といった質問があがっていました。災害対策本部会議でも課題に上がった県士会主導での生活支援を中心とした活動を期待されていることが今回の研修を通して感じられました。講師として参加させて頂き、災害リハビリテーション活動の情報提供だけでなく、会員の要望や意見を聞くことができる良い機会となりました。



横浜 そごう 9階

60歳以上の高齢者単身・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸住宅

サービス付き高齢者向け住宅のご紹介

～神奈川県内200件以上より、健康にお暮らし頂ける住宅をご提案～

 **0800-888-6186**

【営業時間】10:00～20:00

 高齢者住宅募集センター  神奈川ロイヤル株式会社

 ロイヤルリビンググループは 小さな親切  運動  展開中!!



復職支援実務研修報告

鈴木育子さん・木下麻子さん

会員ライフサポート部
活動報告 第57報
職場環境を考える

2016年度は上半期で復職支援実務研修に2名の参加がありました。今回はその方々から、同じような立場の人の役に立つならと、研修報告をニュースに掲載させていただきます。働きたいけど何か不安という方にこの研修の存在を知っていただき、復帰できる人が増えて欲しいです。また、このような充実した研修のできる施設があるというのは、本当に心強いことです。研修施設の皆様ありがとうございます。

鈴木育子さんからの報告

■参加動機

平成元年にPTになり、病院勤務は通算10年、PTOTST介護福祉士との地域リハの株式会社で4年、NPO法人の立ち上げ期間中に個人事業主として介護予防教室などに1年くらい、合計15年くらいPTとして仕事した後、北海道から静岡に転居して離職。以降、静岡県士会で自宅会員から休会、横浜に転居し、昨年神奈川県士会に復会という経過で、気づけばPTから離れて12年くらいになってしまいました。今春下の子が小学校に入学するにあたり、今が復職できる最初で最後のチャンスなのではないかと思いましたが、右も左もわからない状況ではまるで雲をつかむような話で、想像の中で不安だけが膨らみ一歩も踏み出せませんでした。専業主婦として子育てに浸かって、昨年復会するまでは研修や学会への参加もできずPTの仕事にも神奈川県のリハにも全く触れない12年でしたし、知人もなく土地勘もありません。とにかく何か手がかりを、と研修や講習会に参加するうちに、この復職支援実務研修を知りました。募集も、まさに自分の抱えていた不安を言い当てたお誘いでした。体験談も読ませていただき、とても心強く感じました。時間をかけても復職への道を探したいと思いました。

■研修まで

どこにどんな仕事のできる場所があるのか、自分でも役に立てる仕事はどんな分野なのか、自分の知識や経験は現実とはどれほど差ができてしまっているものか、そもそもこの年齢で働く機会をいただけるのか、また、我が家はどんな条件ならば復職できるのか…、まったくわからないままで、復職への熱意だけを述べる相談のメールを送ってみました。担当してくださった寺尾先生はさぞかし頭を抱えられたことでしょう。けれども、本当に親身になって寄り添っていただき、何度も丁寧にご連絡をいただく中で、最適な研修先を三施設もご紹介いただきました。いずれも聞けば聞くほど魅力的に感じましたが、我が家は実家から遠くバックアップ体制がないということもあって、近隣の二施設で午前中のみ、と希望させていただきました。回復期の朝倉病院さんと、生活期の老健コスモスさんです。研修までの間の心配事は次の二点に集約できます。①事前準備：わたくしの学生時代は実習の指導がとても厳しく、不出来な学生には灰皿やスリッパが飛ばとか飛ばないとか…当時は知識を整理したり文献を探したりと事前準備にずいぶん長い時間を費やしたことを思い出しま

したが、この度は何をどのように準備したらよいかわかりませんでした。当時の教科書は古ぼけて参考となるのかどうかもわかりません。焦りと緊張感ばかりがつのりましたが、研修に関わる電話連絡の際に指導PTにお尋ねしたところ、特に準備の必要はないとのこと。やさしくフランクな対応をしていただき、焦りも緊張も含めてとにかく伺ってみようと思えました。昨年来、学会や研修会で症例発表を聞いていてもわからなかった用語や制度、評価スケールなど、教えていただきたいことはまとめておきました。②我が家の朝：研修中は、わたくしの方が先に家を出ることになり、こども達を送り出すことができないとわかりました。夫はさらに早い出勤なので、弟の面倒も、朝ごはんの下膳も持ち物のチェックも戸締りも、すべて、反抗期にさしかかった長男が頼りです。いつもはギリギリまで寝ている、忘れ物の多い長男には初めての大役です。…心もとない限りでしたが、それも復職に向けての準備のひとつになると思い切って任せることにしました。(この結末は、5勝4敗でした！テレビの消し忘れや食べかけのパンがかさかさのまま放置という軽微なものから、提出物の忘れ物や鍵のかけ忘れまで、さまざまな事件(!?)がありました。いずれも大事には至りませんでした。総じて、こども達にとってもわたし自身にも、本当に得難い経験となりました。)

■研修内容

1. 朝倉病院：指導PT 野北先生 福田先生

5/16	○リハビリの考え方・制度について (急性期・回復期・生活期、医療保険・介護保険・介護予防) ○車いす・義肢装具について ○評価について
5/17	○回復期病棟について ○施設基準、勤務体制について ○質問
5/18	○ケース ○カルテの流れ・レセプトについて ○医療保険について ○評価スケールについて
5/19	○入院時カンファレンス見学 ○施設見学 ○文献について ○ケース
5/20	○質問・フィードバック ○カンファレンス参加

活動報告



2. 老健コスモス：指導PT 清水先生 戸崎先生 沼田先生、 指導OT 山田先生

6/13	○リハビリの考え方について ○介護保険について ○老健について ○訪問リハビリについて (訪問リハビリの実際、訪問看護ステーションと 訪問リハビリステーション) ○装具の処方について
6/14	○ケース ○磯子区・港南区の訪問リハビリについて
6/15	○ケース ○訪問リハビリ同行
6/16	子どもの発熱によりお休みをいただく
6/17	○訪問リハビリ同行 ○総括(施設基準について・ケアマネについて・ 県士会について)

■研修を終えて

どちらの施設でも、本当にご多忙の中でしたのに、丁寧にやさしくご指導いただきました。初めて聞く内容も多く、理解できるまでに時間がかかる場面もかなりありましたが、繰り返しの質問にも辛抱強くお付き合いいただきました。申し訳ないほど有難く、ぜいたくな研修でした。この研修によって得られたことはずいぶんたくさんあって、なかなかまとめられません。制度や技術などで変わってしまっていた点にたくさん気付かせていただき、理解できるまで教えていただきました。変わった点も本当に多く感じましたが、臨床の現場でPTが悩んだり苦労したり努力したりすることは、やはりいつでも同じなのだと思います。新しい文献もたくさんご紹介いただき、今後わたくしが努力すべき方向を教えてくださいました。PT士会のこれまでの経過や研修会などの情報もいただき、いま求められているPTの像も教えていただきました。勤務体系が多様になっていることや周辺の施設についての情報もいただき、就活の参考にさせていただけます。現役の時には制度や法の根拠も不明確なままで携わっていた介護予防や生きがい支援の仕事も振り返るきっかけをいただきました。わたくし自身と家庭内の課題も肌身で感じられました。多職種の方々と、短い時間でしたがお話できる機会を得て、働く母としてのコツや心得も伺えました。利用者の方々とご家族にもお目にかかれて、自分の人生を顧みてみたり、自分が担当だったらとさまざまに想定したりもさせていただきました。そして何よりも、日々活躍されているPTOTSTのみなさんの姿を目の当たりにして、やっぱりPTとして働きたいと思いました！この研修を経験することなく復職していたら、と考えると、恐ろしいような気持ちです。わたくしにとっては、とても大切なしかも衝撃的な期間でした。さすがに12年のブランクは浦島太郎のように隔世の感があり、知識も技術も体力も簡単には埋めがたいものがありますが、これからも研鑽を積んで、きっとこの研修を生かし、復職に向かいたいと思います。このような貴重な機会を与えていただき、お世話になりました皆様心から感謝しています。本当にありがとうございました。

木下麻子さんからの報告

■参加動機

新卒で埼玉に就職をして、8年間病院と施設で勤めました。結婚を機に退職し、川崎市に引っ越してきました。その後、2人の子供を出産し、専業主婦として育児をしてきました。そして、仕事を離れ5年半が経ちました。その間、いつかは仕事復帰したいという気持ちは持ち続けていました。来年には、下の子供が幼稚園に入園するため、常勤職は難しくとも非常勤職員やパート等で仕事復帰できないかと考えるようになりました。その中、神奈川県理学療法士会のホームページにてライフサポート部の復職支援を知り連絡をしました。研修先は、これから生活期に携わっていきたくて考えていたこと、離職期間も長いいため新しい分野での復職には不安があったことから、以前勤めた経験のある介護老人保健施設を希望しようと思いました。そして、自宅から近い介護老人保健施設「つくしの里」(以下「つくしの里」)に研修の希望をし、ライフサポート部の寺尾先生に調整していただきました。

■研修内容

研修をさせていただくことが決まり、その後の細かい研修については直接電話連絡にてつくしの里の木下尚久先生に連絡させていただきました。つくしの里は、理学療法士6名、作業療法士1名、言語聴覚士1名の先生方がいます。そのうち4名の方が、出産と育児の経験者です。今回の研修を主に担当してくださった平塚多先生も産休・育休後に復帰された先生です。内容は、下記のようなスケジュールで見学から始まり、移乗動作などの介助や訓練を体験させていただきました。その他にも、現在の介護保険制度のお話を伺うなど様々な経験をさせていただきました。

	9:00～12:00	13:00～16:45
8/11(木)	通所個別リハ	集団リハ、入所の個別リハ
8/12(金)	個別リハ	通所の個別リハ、集団リハ
8/13(土)	入所の個別リハ、通所個別リハ	

■研修を終えて

5年半という期間をリハビリの業務から離れていたこともあり、復職を考えるにあたって、患者様・利用者様を目の前に評価や訓練ができるであろうかと不安に思っていました。けれども、丁寧に指導して下さる先生方の元で訓練や介助方法が体験できたので、安心して行うことができました。知識や技術面の未熟さの再確認となりましたが、同時に久しぶりに患者様・利用者様に触れるという不安感は少なくなり復職を前向きに考えることができました。その他にも、実際に育児をしながら仕事をされている先生方の働いている職場だったので、復職する上での職場の環境も確認していく必要があると思いました。仕事と育児を両立している先生方のお話を伺えたことも家族の協力が必要であることを実感できました。復職に至るまでは、まだまだ多くの課題があります。しかし、今回の研修を受けて改めて理学療法士として働くことに充実感を感じることができました。その気持ちを大切に復職に向け一歩進んでいきたいと思えます。



第34回 神奈川県理学療法士学会 —プログラムと準備の進捗状況 (2) —

第34回神奈川県理学療法士学会の準備状況をお伝えいたします。今回は会員の発表を中心に運営する、本来の学会の姿を模索しました。会員の皆様が丸となり、楽しく、そして有意義な一日になるよう、準備委員一同、頑張ってお進めしております。一人でも多くの会員の皆様にご参加いただけることを期待しております。

学会テーマ

「地域に理学療法士が関わる意味～生命・生活・人生～」

本学会のテーマを決めて行く過程の中で様々なことが話し合われました。

理学療法士が知識を高めることや技術を研鑽することは当然のことですが、対象となる患者さん・利用者さんにはどのような意味があるのでしょうか？地域連携を進めて行く過程で多くの職種との共同が求められるところで理学療法士という職種が関わる意義はどのようなことがあるのでしょうか？それは対象となる方の命、暮らし、生きがいなどにどう働きかけているものなのでしょうか？そんなことを考え、症例報告などを通して語って頂ける場になればと考えております。

今学会では症例発表の機会を多く予定しています。皆さんが持つ様々な視点から、どのような視野（→意図）を持って臨んだことなのかを、是非この機会にお見せ下さい。

口述・ポスター発表の場を経験しよう！

会員数増加に伴い学会発表を経験できる機会が相対的に少なくなっている中で、今回の学会は発表中心のシンプルな学会にしたいと考えております。特に今回は口述発表ができる演題数を増やし時間的にゆとりのあるプログラムを設定しております。熱い討議ができますことを期待しております。

県民公開講座

「地域包括ケアからケアする社会へ～幸手モデルの取り組み～」

地域医療の第一線で活躍されている中野先生より、医師の立場から様々なお話をさせていただきます。一般県民や関連職種の方々にとっても、興味・関心の高い分野を取り上げていただく予定です。



東埼玉総合病院
中野 智紀先生

地域症例リレー

急性期：横須賀共済病院

回復期：七沢リハビリテーション病院脳血管センター

生活期：衣笠病院

実際の事例を通して、急性期・回復期・生活期におけるシームレスなリハビリテーション過程を、各フェーズの病院・施設ごとにリレー形式で発表させていただきます。

県士会活動紹介

県士会活動は通常行われている各部局行事、県士会ニュース等により会員に案内、周知されていることと思います。しかしながら、昨年度より開始されたブロック活動を始めとして実施されている様々な県士会の活動については皆さんご存知でしょうか？普段なかなか触れることのない内容が満載であり、大変貴重なお話を伺える機会になると思います。

学会の準備は日々、着々と進んでいます！

上記以外の企画も、現在進行形で準備を進めています。学会ホームページも開設されておりますので、最新情報は（公社）神奈川県理学療法士会ホームページ、あるいは以下よりご確認ください。

〈学会HP： <http://congress-kpta.jimdo.com/>〉

【開催日時】平成29年3月12日（日） 9:00～16:00

【開催場所】パシフィコ横浜 3階



研修会・講習会

●県士会主催

平成28年度 神経理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ:脳卒中片麻痺の理学療法
～運動学・運動力学で捉えた姿勢・動作分析から治療展開～

内容:最近の脳卒中に対するリハビリテーションは、ニューロリハビリテーションや再生医療などが注目を浴びています。その影響は、私たちが臨床で取り組んでいる理学療法にも少しずつ及ぼしています。しかし、実際の脳卒中片麻痺の理学療法は大きく変化しているとは言えない状況であると感じています。

今回の講習会では、ニューロリハビリテーションなど最新の研究と臨床を結び付けるための準備として、理学療法の中でも私たちが拠り所としている運動学や運動力学を用いて、片麻痺の姿勢や動作分析について考察してみたいと思います。

キーワードは「麻痺側下肢から力を出す」、「姿勢制御」、「歩行再建」です。この講習会をとおして臨床家の日々の悩みや疑問が少しでも解決できればと願っています。

日時:本年度より、同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。

お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目:平成28年11月20日(日)13:40～16:40(13:20受付開始)

2回目:平成28年12月18日(日)13:40～16:40(13:20受付開始)

会場:**1回目:**国際医療福祉大学 大講義室(最寄駅:JR小田原駅)

2回目:横浜市社会福祉センター 8階 会議室(最寄駅:JR桜木町駅、横浜市営地下鉄桜木町駅)

講師:萩原 章由先生(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

受講料:県士会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金確認出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法:日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間:**1回目:**平成28年9月20日(火)

～平成28年10月31日(日)

2回目:平成28年10月17日(月)

～平成28年11月28日(月)

定員:各回100名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象:理学療法士

単位認定:履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、確定次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先:(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail: office@pt-kanagawa.or.jp

お問合せはメールでお願いします。

平成28年度 発達障害理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部・発達障害支援部

テーマ:小児理学療法学入門

～はじめて脳性まひ児に対するセラピストに臨床に役立つ知識を提供する～

内容:①乳幼児期の全人的発達について理解を深める。

②成人脳卒中患者と比較して運動障害や運動学習のあり方の違いを知る。

③脳性まひの定義・分類(タイプ、麻痺の分布、重症度)と治療方針の関係を考える。

④合併症として発達障害(自閉症スペクトラム、ADHDなど)を持っている児の臨床を考える。

日時・会場:本年度より、同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。

1回目:平成28年10月2日(日)に終了

2回目:平成28年12月3日(土) 13:00～16:00(受付開始 12:30～)

神奈川県立保健福祉大学大講義室

(最寄駅:京浜急行 県立大学駅より徒歩5分)

申込受付期間:平成28年10月3日(月)

～平成28年11月13日(日)

講師:萩原 聡先生(横浜市東部地域療育センター)

受講料:県士会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

詳細は、ホームページ、(公社)神奈川県士会理学療法士会ニュース7月号をご参照ください。



臨床実習教育部主催 研修会

テーマ 臨床実習指導方法—運動器疾患を中心に—

内容：今回の研修会は、テーマを「臨床実習指導方法—運動器疾患を中心に—」といたしました。実習生を受け入れる際の事前準備や、実習開始後の実習の展開方法、学生への指導方法など、具体的な臨床実習の進め方についてご講演をいただきます。また、運動器疾患を例にあげ、臨床実習をすすめる際の指導のポイント、指導に難渋した事例等についてお話いただく予定です。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成29年2月12日(日) 13:00~16:00
(受付開始12:30~)

会場：相模原市立市民・大学交流センター
ユニコムプラザさがみはら
(〒252-0303相模原市南区相模大野3-3-2 bono 相模大野サウスモール3階 小田急線 相模大野駅下車)

講師：河端 将司先生(相模原協同病院)

受講料：県士会員2,000円 他都道府県士会員5,000円

*受講料は、当日現金で徴収いたします。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前web登録をお願い致します。

神奈川県理学療法士会ウェブサイト[講習会・研修会・イベント情報]をご参照ください。

申込受付期間：平成28年12月13日(火)~平成29年2月3日(金)

定員：80名

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントの最新情報については、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp

臨床実習教育部長 坂本美喜(北里大学医療衛生学部)

月	日	内容	場所
6月	7日(火)	第2回事業運営会議	事務所
	10日(金)	自民党ヒヤリング	神奈川県庁
	11日(土)	管理者研修	横浜市水道会館
	12日(日)	第37回定時総会	横浜リハビリテーション専門学校
	13日(月)	小川かつみ後援会、自民党横浜市連決起大会	関内ホール
	15日(水)	神奈川県病院協会、レセプション	キャメロットジャパン
	17日(金)	神奈川県医療専門職連合会、定時総会	横浜市西区公会堂
	19日(日)	小川かつみ後援会、勉強会	新百合ヶ丘総合病院
	20日(月)	地域組織対策本部会議	事務所
	22日(水)	第4回常任理事会	事務所
	22日(水)	小川かつみ後援会、出陣式	田町カンファレンスルーム
	24日(金)	小川かつみ後援会、個人演説会	かながわ県民センター
29日(水)	災害対策本部会議	事務所	
7月	1日(金)	第35回開プロ学会準備会議	横浜リハビリテーション専門学校
	2日(土)	小川かつみ後援会、会議	事務所
	9日(土)	第3回(拡大)事業運営会議	横浜リハビリテーション専門学校
	10日(日)	小川かつみ後援会	田町カンファレンスルーム
	12日(火)	神奈川県医療専門職連合会、理事会	臨床工学技士会事務所
	19日(火)	小川かつみ後援会、会議	事務所
	29日(金)	第35回開プロ学会準備会議	横浜リハビリテーション専門学校
8月	3日(水)	第5回常任理事会	事務所
	4日(木)	自民党への要望書打合せ	田村事務所
	5日(金)	リハビリ手帳使用説明、中村教授	横浜市立大学医学部
	9日(火)	リハビリ手帳使用説明、神奈川県病院協会	医療会館
	12日(金)	リハビリ手帳使用説明、神奈川県保健福祉局長	神奈川県庁
	16日(火)	第2回理事会	事務所
	20日(土)	ブロック活動報告会	情報科学専門学校
	20日(土)	(公社)日本理学療法士協会 都道府県理学療法士会 役員意見交換会懇親会	ゲートシティ大崎
	21日(日)	(公社)日本理学療法士協会 都道府県理学療法士会 役員意見交換会	TKP田町カンファレンスセンター
	25日(木)	リハビリ手帳使用説明、神奈川県医師会	医療会館
25日(木)	第35回開プロ学会準備会議	横浜リハビリテーション専門学校	



理事会報告

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2016年度第1回理事会報告

I. 開催日時：平成28年5月17日(火) 19:00～21:00

II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数：15名 定足数：8名

出席理事数：13名

出席理事：林 克郎、炭 孝昭、佐藤史子、惣田 洋、大槻
かおる、小山理恵子、相川浩一、久保雅昭、久保
木あずみ、渡邊裕之、山崎哲司、坪内敬典、相馬
光一

IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名

出席監事：君嶋武司、井上 保、秋田 裕

V. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、小林和美

VI. 議長の氏名

林 克郎

VII. 議 題

[審議事項]

第1号議題 平成27年度事業報告書ならびに収支計算書の承認について

第2号議題 平成28年度第37回定時総会の招集について

第3号議題 規程の承認について

第4号議案 業務執行の決定について
(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

[報告事項]

(1) 会長の業務執行状況について

(2) 業務執行理事の業務執行状況について

VIII. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

定刻、代表理事が議長席につき開会を宣し、本理事会が、定款32条の規定に定める定足数8名に対し、13名の出席により成立した旨を告げ、次の議案の審議に入った。

(1) 第1号議題 平成27年度事業報告書ならびに収支計算書の承認について

議長の求めに応じ、相川事務局長より平成27年度事業報告書ならびに収支計算書について説明があった

5月15日(日)に開催された監査についても、報告がされた。

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

(2) 第2号議案 平成28年度第37回定時総会の招集について
議長の求めに応じ、相川理事より平成28年度第37回定時総会の招集について説明があった。

ア 6月12日(日)9:30～ 横浜リハビリテーション専門学校 8階講堂(横浜市戸塚区品濃町550-1)

イ 決議事項 第1号議案 平成27年度事業報告並びに収支決算(案)に承認を求める件

ウ 報告事項 平成28年度の事業と組織について・その他

エ 会員へ送付する第37回定時総会資料に議決権行使書と委任状と返信用封筒を同封する事が報告された。

オ 議決権行使書は、第1号議案平成27年度事業報告並びに収支決算(案)に承認を求める件、賛否の意思を表

示していない場合は、賛成を表したものとみなす事が、確認された。

カ 委任状は、委任状に代理人の氏名が記載されていない場合、議決権は議長に一任されたものとみなす事が、確認された。

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

(3) 第3号議案 規程の承認について

議長の求めに応じ、佐藤副会長より規程(案)について説明があった。

ア 弔事及び傷病見舞への対応に関する規定(案)

イ 分掌規程(案)

ウ 平成28年度(公社)神奈川県理学療法士会組織図(案)

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

(4) 第4号議案 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

ア 議長の求めに応じ、相川事務局長より会員の資格の取得について、前回理事会からの入会者が4名、転入者が40名あったとの説明がされ、平成28年5月17日現在の会員数が4,560名との報告があった。

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

イ 相川事務局長より、各種団体より以下の後援・共催・協賛依頼があったと説明があった。

【後援依頼等】

(ア) 特定非営利活動法人横浜市まちづくりセンター「かながわ・よこはまケア連携型バリアフリー改修シンポジウム」

(イ) 神奈川県保険医協会「第25回在宅医療・介護セミナー」

(ウ) 神奈川県体育協会「平成28年度トレーナー研究会(前期)」

(エ) 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター「PTハンドリング入門」

(オ) 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター「脳血管障害の理学療法」

(カ) 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター「股関節症のリハビリテーション」

(キ) 神奈川県作業療法士会「第2回神奈川県臨床作業療法大会」

【会員推薦】

(ア) 神奈川県体育協会「平成28・29年度スポーツ医学科学委員会トレーナー部会」部会員推薦/鈴川仁人氏(横浜市スポーツ医学センター)

(イ) かながわ福祉サービス振興会「平成28年度介護人材確保対策推進会議」委員推薦/林克郎氏(本会会長)

(ウ) 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター「地域活動支援事業巡回相談」会員推薦/人選中

(エ) 川崎市「川崎市在宅療養推進協会」委員推薦/炭孝昭氏(太田総合病院)



(オ)海老名市「介護予防・健康づくり出前講座」講師
依頼／県央ブロックで対応

【会議室使用申請】

(ア)日本支援工理学療法学会4月4日(月)、7月11日
(月)、11月25日(金)

(イ)神奈川県理学療法士連盟3月25日(金)

(ウ)神奈川県糖尿病療養指導研究会6月23日(木)

(エ)重症心身障害理学療法研究会 ミニ研修会8月
20日(土)

(オ)神奈川県小川かつみ後援会5月16日(月)

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一
致で承認された。

ウ 議長の求めに応じ、大槻職能局長より6月11日(土)
に、横浜水道会館で開催される「平成28年度第1回協
会指定管理者研修会」開催にあたり、理事、部長・委
員長を協会指定管理者に土会長推薦することの説明
があった。

管理者証明申請書と推薦状を受講者に、理事、部・委
員長、ブロック長に配布することになった。

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一
致で承認された。

エ 議長の求めに応じ、佐藤副会長より平成28年度表彰
について説明があった。

(ア)土会活動功労分野 理事歴通算20年 7名 別
添参照

(イ)土会活動功労分野 理事歴通算10年 8名 別
添参照

(ウ)土会活動功労分野 部活動分野：部長、委員長、
係長歴通算10年 10名 別添参照

(エ)平成28年6月12日(日)横浜リハビリテーション
専門学校 総会終了後

(オ)A4表彰状を送り、記念品はなし

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一
致で承認された。

オ 坪内理事より、災害対策委員長の交代について説明
があった。

今川 祐子(済生会横浜市東部病院)から下田栄次
(あべ整形外科)

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一
致で承認された。

カ 炭副会長より、6月2日(木)伊勢原協同病院で開催さ
れる勉強会についての共催と6月19日(日)新百合ヶ
丘総合病院で開催される研修会の後援について説明
がされた。

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一
致で承認された。

原稿の一部に誤りがあったため、訂正のお知らせを書面
とHPで行うことが確認された。

IX. 報告事項

(1) 会長職執行業況報告

林会長より、前回理事会から昨日までの会長職務の執行状況
が報告された。

会長行動報告にアンダーラインがあるものは、事務局に資料

が保管されている事が確認された。

(2) 事務局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。

ア 総務部 相川理事より

(ア)平成28年度第37回定時総会6月12日(日)横浜リ
ハビリテーション専門学校 8階講堂で、開催す
ると報告された。

(イ)総会までのスケジュールについて確認された。

(ウ)総会資料等の発送後、役員・ブロック長・3/16
に受講された管理者に提出依頼をメールする事
が報告された。

(エ)5月30日(月)議決権行使書の提出状況を確認し、
提出されていない施設については、事務局より、
担当理事に連絡し、担当理事より各施設(別紙参
照)へ連絡する事が確認された。

(オ)総会および講演出席者に履修ポイントが付与さ
れることが報告された。

(カ)集合時間等は、別途案内をする事となった。

(キ)データ管理係(履修ポイント決定)は、4月から総
務部となり、4月～5月15日までの依頼は11件と
報告された。

イ 広報部 相馬理事より

(ア)理学療法フェスタ関連のイベントカレンダー・
チラシ・ポスターの発送は6月上旬を予定して
いることが報告された。

(イ)本会新規リーフレット制作についての進捗状況
が報告された。

ウ ウェブサイト管理部 坪内理事より

(ア)新年度のメーリングリスト変更を4月28日(木)
に行った事が報告された。

(イ)ウェブサイト管理部会議5月23日(月)に開催予
定と報告された。

(ウ)ホームページ閲覧数(別紙参照)が報告された。

(エ)4月より、Facebookの立ち上げを行った事が、報
告された。

エ ライフサポート部 相川事務局長より

(ア)人員確保に関するアンケート結果を受けた取り
組みについて報告された。

a 9月4日(日)ウィリング横浜にて講習会開催
予定 根本敬氏(湘南鎌倉総合病院)予定

b 第51回日本理学療法学会(第1報)5月
27日(金)～29日(日)、第35回関東甲信越
ブロック理学療法士学会(第2報)10月29日
(土)～30日(日)に学会発表をする事が報告
された。

c アンケートの結果を冊子にして、今年度中
に発送する予定と報告された。

(イ)託児室設置を希望する研修会を部長・委員長
メールにて募る予定であると報告された。

(3) 学術局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。

ア 生涯学習部 小山学術局長より

(ア)5月15日(日)横浜リハビリテーション専門学校に

理事会報告



- て、内部障害理学療法領域講習会(1回目)を開催した事が報告された。
- イ 学術誌編集部 山崎理事より
(ア)4月27日(水)に第1回編集部会が、開催された事が報告された。
- ウ その他 小山学術局長
(ア)5月18日(水)に神奈川県病院協会第1回学術委員会が開催され、小山学術局長が出席予定であることが報告された。
- (4)社会局業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。
- ア 障害者スポーツ支援係 久保理事より
(ア)5月5日(木)に第21回ハマピック陸上競技大会にて、参加選手に対してサポートを実施した事が報告された。
- (5)地職能局業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。
- ア 環境支援部 久保木理事より
(ア)「明日から使える環境調整スキルシリーズ全5回」の住環境編が6月4日(土)に開催予定である事が、報告された。
シーティング編が8月6日(土)について、準備中である事が報告された。
- イ 地位向上委員会 炭委員長より
(ア)4月17日(日)新人オリエンテーション旭公会堂に於いて、事業を実施した事が報告された。
- (6)地域組織対策本部状況報告
前回理事会から昨日までの地域組織対策本部の執行状況が報告された。
- ア リハビリ手帳作成委員会 久保理事より
(ア)リハビリ手帳が作製され、5月30日(月)に周知について会議が行われる事が報告された。
- イ 災害対策委員会 坪内理事より
(ア)熊本地震における委員の派遣について報告された。
(イ)募金箱について、本会主催の各研修会・講習会には折りたたみの募金箱を置き、本会事務所には常設の募金箱を置く事が報告された。
- (7)その他状況報告
- ア 第35回関東甲信越ブロック学会準備委員会
(ア)5月10日(火)締切で、314演題集まり、今後査読から学会の体裁に整えていく作業になると報告された。
(イ)20の会場展示ブースを予定し、4ブース決定した事が報告された。
- イ 神奈川県介護支援専門員協会
(ア)第1回理事会が、5月21日(土)にウィリング横浜にて開催することが報告された。
- ウ 医療専門職連合会
(ア)第1回理事会が、6月17日(金)に西公会堂で開催することが報告された。
(イ)総会時の議長を本会代議員から選出する事になり、山崎理事が承認された。
(ウ)総会承認後より、臨床工学技士会が会長となり、事務所も移転する事が報告された。
(エ)本会の代議員が、会員数の増加により16名から17名となった事が報告された。
- エ 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会
(ア)第1回理事会が、5月16日(月)に行われた事が報告された。
- (8)井上監事より、総会には多くの人が出席してもらえように、役員として促しをして欲しいと話があった。



information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。
紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。
*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。
神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。
「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず

必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行ってください。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了してください。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可してください。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

- ☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました
- ☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
 - 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
 - 書籍購入（一部割引）等が可能となります。
- *詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

- ①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。
- *楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行ってください。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

ユーザー名とパスワードは同一 **kpt2016** です

パスワードは1年毎に変更になります
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

あなたの生活をサポートします



(有)木村義肢工作研究所

横浜市栄区安間三丁目40番5号 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560
http://www.kimura-gishi.co.jp/

編集後記

この原稿を書いている時点では、まだまだ暑い日が続いています。しかし、夜になると少し涼しさを感じる時もあり、徐々に夏が過ぎていくことを実感することがあります。

子供の頃から、夏休みの終わりの時期には少し寂しさを感じていました。それは休みの間の自由な時間がもうすぐ失われることの寂しさだったのかもしれませんが。浴衣を着て参加した夏祭り、よく冷えた西瓜、カブトムシ等の昆虫採集…。夏に関連する様々なイベントの思い出が夏休みへの愛着を育んでいったのだと思います。夏休みの残りの数日間、急ぎ立てられるかのようにやり残したことをしようと頑張っていたように思います。

こうした「感覚」は大人になった今でも残っています。子供の頃のような夏休みがあるわけではないのに、8月の終わりくらいになると少し寂しさを感じます。どうしてなのだろうと時々考えることがありますが、それは子供の頃の感覚がまだ残っていることによるのかもしれません。

今では私も大人になり、物事に対する捉え方等は子供の頃と比べると変化していると思います。しかし、全てが「大人の感覚」または「論理」になってしまうことに抵抗を感じます。良い意味で子供のような瑞々しい感性をこれからも自分の中に残しておきたいと思っています。

(金子)

次号の原稿締め切りは平成28年**12月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部 (ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
部長：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
部員：今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
金子 達也 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
鈴木 啓介 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>